

5月号

474号

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野間680-1)

TEL 52-3969

FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに … それが社会福祉協議会の目標です

第41回 ふれあいひろば

(3月15日開催)



【ご協力いただいた団体】 (順不同)

福寿草の会/ユースサポート/わかたけ作業所/たからばこ/福建労/ちくご手をつなごう絆の会/ちっこ手話サークル/八女工業高校ボランティア同好会/ゆずりっこ/羽犬塚校区福祉会・子育てサロン/筑後児童合唱団/和「なごみ」/みずぐるま/こどものえんげきひろば/はねマルシェ/sakuSAKU/さんふらわあ筑後/パンプキッチン/ちくご作業所あいあい/morich/JOY工房

（主催）筑後市ボランティア連絡協議会・筑後市社会福祉協議会・筑後市自立支援協議会

「総合福祉センターは、みんなが安心して過ごせる場！」をテーマに、「第41回ふれあいひろば」を開催しました。

地域団体によるステージイベントや、各ボランティア団体の活動紹介ブースに加え、障害福祉サービス事業所による「はねマルシェ」も同時開催。

約500名の方が来場され大変にぎわいました。

5月12日～5月18日は
民生委員・児童委員 活動強化週間

競争ではなく共創

民生委員は大変だけど大変じゃない

▶ インタビュー/ 高橋 昌子 さん(大和 写真)

高橋さんは民生委員として、通算15年、様々な方と協力しながら、地域の見守りや、相談の対応などに取り組んでいます。



きっかけは、

区長さんからの依頼

仕事を辞めてしばらく自宅で過ごしていました。そろそろ働きたいなと思っていた時、区長さんから声をかけられたことがきっかけです。

民生委員がどういう役割なのかということとは全く知らず、深く考えずに引き受けました。

最初は後悔

出合いを通じ、思いは変化

民生委員として、地域の高齢者の見守りや、地域のボランティアとして、地域サービスや子育てサロンへ参加したり、子どもの通学の見守りをしています。

民生委員になったばかりの頃は正直、大変で引き受けたことを後悔していました。

しかし、活動の中で地域の高齢者、ボランティア活動をする皆さん、地域包括支援センターや市役所職員、社会福祉協議会の職員など、ほとんど知り合いが増えました。その中で、いつの間にかその

現役民生委員から 民生委員・児童委員の魅力は？



ぜひあなたも！

研修を通し地域の課題が分かり勉強になるし、委員同士で情報共有しあえるので安心して見守り活動ができる

若い方から、ご高齢の方に関われて、出合いが楽しい

感謝の言葉が喜びになり活動してよかった

地域の人々との交流会を通して新しい仲間ができる

「イラストは著作権所有者（全国民生委員児童委員連合会）の許可を得て使用」

民生委員児童委員・主任児童委員とは

▶ **民生委員**：民生委員法に定められ、厚生労働大臣から委嘱されたボランティア。児童福祉法により「児童委員」も兼ねます。常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行います。

▶ **主任児童委員**：児童委員活動を強化推進するために設置され、妊婦や乳幼児・児童など子育て家庭に関することを担当。関係機関との連絡調整や児童委員へ援助・協力を行います。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

後悔は薄れ、二期目は、自然と民生委員を続ける選択をしていました。

大変だけど

大変じゃない

民生委員は一人だけで頑張る・悩むものではない、共に創っていくもの（＝共創）だと思っています。

たくさんの繋がりができ、たくさんの方に相談することができます。

だから大変だけど、大変じゃない。

民生委員も、たくさんの人に支えてもらいながら活動をしています。

子どもの成長を

見守ることができる喜び

民生委員を始めた頃に保育園児だった地域の子が、今は大学生になっています。先日会う機会がありました。「覚えています」と言ってもらえ、うれしく思いました。

子どもの成長は素晴らしいです。それを身近で見守

ることができるとは貴重な経験だと思います。

「自分のために」

ではなく「人のために」

働いているときには、他者との競争でした。自分のために働いていました。

しかし、民生委員としての活動は、競争ではありません。まったく逆の考え方です。「人のために」を考えています。

市内の民生委員さんや地域ボランティアさんはみんな「人のため」という思いで活動されています。

そのような人達とつながりができたこともよかったことです。



CHIKUGO

福祉レクリエーションサークル

参加者募集！



地域の活動や福祉の現場などで役に立つ、レクリエーションの学習や用具の製作、ボランティア同士の講習や情報交換などを行っています。

※いずれも月曜日の13:30～15:

00
 ① 4月28日 ② 5月19日 ③ 6月30日
 ④ 7月28日 ⑤ 8月25日 ⑥ 9月29日
 ⑦ 10月27日 ⑧ 11月17日 ⑨ 12月15日
 令和8年
 ⑩ 1月26日 ⑪ 2月 16日 ⑫ 3月
 30日

会場 筑後市総合福祉センター（野町680-1）
 2階研修室（変更になる場合もあります）

参加費 1回100円

問合せ／ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

2025年

点訳ボランティア入門講座

5/26(月) 【テーマ】なぜ点訳ボランティアが必要？
 10:00～12:00 ○視覚障害当事者の話
 ○点字講習①「点字の基礎」

6/ 2(月) 【テーマ】点字ってどんなもの？
 10:00～12:00 ○点字講習②「言葉を点字で書く」

6/ 9(月) 【テーマ】点字ってどんなもの？
 10:00～12:00 ○点字講習③「文章を点字で書く」

6/16(月) 【テーマ】点字ってどんなもの？
 10:00～12:00 ○点字講習④「点訳してみよう」

6/23(月) 【テーマ】お疲れ様会！～今後の活動に向けて～
 10:00～12:00 ○交流会
 ○パソコン点訳の紹介

会場 筑後市総合福祉センター（筑後市野町680-1）

対象 点訳ボランティアに関心のある方

※市内外問いません。個別対応も可能です。ご相談ください

講師 点訳グループむつみ会 会員

参加費 無料

申込み 点訳グループむつみ会
 講座途中でも申し込み可

問合せ（事務局）筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677



社会福祉事業資金寄付

★香典返し寄付の部★

河野 精二様(故 八重子様) 西牟田町
 正山 キチ子様(故 英隆 様) 尾島
 井上 淳浩様(故 壽 様) 西牟田町
 中富 清久様(故 有勝 様) 井田下
 西村 明美様(故 下川正一様)
 馬間田北

★一般寄付の部★

○筑後市囲碁クラブ同好会様から現金の寄付がありました。

★計二〇、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

●預託の部(物品口座)

○立山康弘様(和泉中)・江口敏範様(大川市)から野菜の寄付がありました。
 ○井上淳浩様(西牟田町)・檀康文様(尾島)から紙おむつの寄付がありました。
 ○匿名様(1件)から食品の寄付がありました。
 ○匿名様(1件)からお米の寄付がありました。
 ○JAふくおか八女よらん野様(前津)から野菜の寄付がありました。
 ○株プレシア様(下北島)からお菓子の寄付がありました。

【いずれも3月1日～3月31日まで】

家族のメンタルケアについて

ひまわりのつどい(精神障害のある当事者と家族のつどい)と、サルビアの会(不登校・ひきこもりの方の家族会)の合同学習会を開催します。

家族のメンタルケアについて、学習を予定しています。

とき 5月11日(日) 10:00～12:00

ところ 筑後市総合福祉センター

講師 岡田健一さん
 (九州大谷短期大学准教授/臨床心理士/公認心理師)

参加費 無料

問合せ 筑後市社会福祉協議会
 TEL: 0942-52-3969
 FAX: 0942-53-6677
 MAIL: info@chikugo-shakyo.or.jp



ひきこもり家族相談会

とき 5月15日(木) 13:00～16:00

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

★5月8日(木) 17時までに要予約
 (1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

問合せ・予約 筑後市社会福祉協議会
 ☎ 52-3969 ☎ 53-6677

精神障害のある人のための
 居場所・交流スペース

かたる～む

★5月の開設日のお知らせ★

とき 5月9・23日(金) 13:30～15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

事務局通信

今回、インタビューをさせていただいた高橋民生委員さんは、ご家族の介護のために一時期、民生委員の活動から外れていたことがあったそうです。

「介護をしている間は辛く、大変でした。しかし、それまでは介護される高齢者にばかりに目が行きがちでしたが、介護している方への声掛けも自然とできるようになりました」「仕事での経験や、介護の経験等、辛かったことも、自分の経験すべてが民生委員の活動で生かすことができるんだと思うと、辛かったこともいい経験だったと思う」と話されました。

社会福祉協議会には、いくつかの当事者団体があり、日々活動をしています。

その中では、誰かの「辛かった」経験が、誰かの今の「辛い」状況を和らげている。そんなやりとりを見かけることがあります。

同じような経験をすることがある人にしか分からない痛みや悩みを、分かち合い支え合うことができるのだと思います。

筑後市内には92名の民生委員および主任児童委員が活動しています。

すべての方それぞれに、積み重ねた人生経験があります。その一つ一つが民生委員の活動に生かされていると思うと、本当に心強いなと思いました。

(中)